

第2期 柏市地域健康福祉活動計画

平成21年度進捗状況報告書
～ 計画1年目の取り組み ～



社会福祉
法人

柏市社会福祉協議会

目 次

第1章 計画の推進及び進行管理	1
第2章 重点プロジェクトの進捗状況	4
第3章 各施策の進捗状況	10
第4章 市社協の発展・強化	11
第5章 地区別計画に向けて	12
資 料 施策別の目標値進捗状況一覧	14

この報告書は、地域健康福祉活動計画(第5章)に基づき、計画の進捗状況を年度ごとにまとめ、その進捗管理により計画の効果的な推進と着実な成果をあげることを目的に作成するものです。

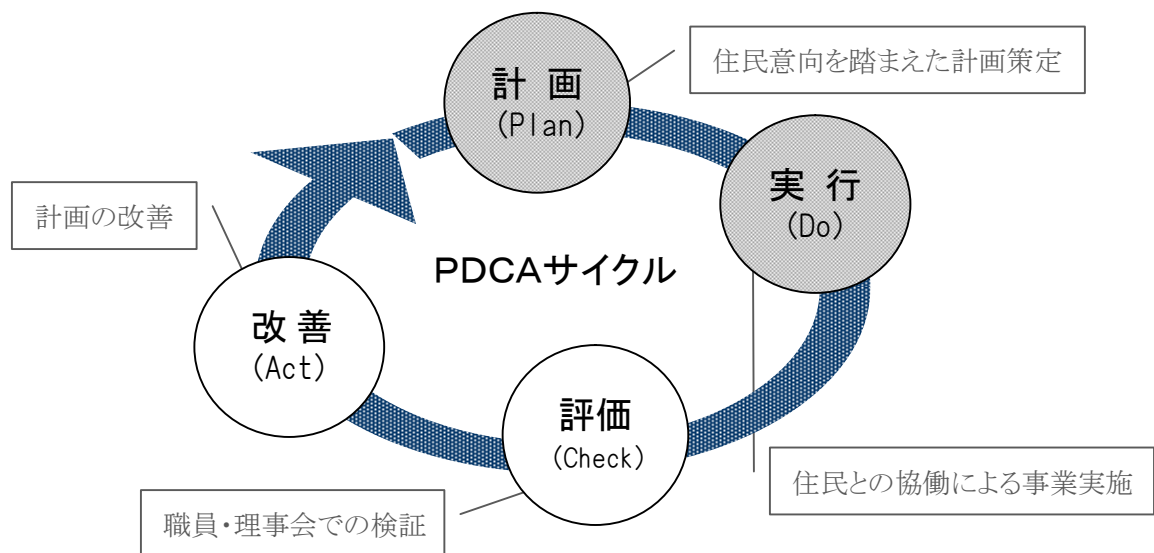
また、報告書は、ホームページに掲載する等、その取り組み状況を広く公表します。

第1章 計画の推進及び進行管理

『PDCAサイクル』に基づく計画の推進及び進行管理を行ない、計画の着実な推進と成果を目指します。

1 報告の主旨

この報告書は、「第2期 柏市地域健康福祉活動計画」の進行状況を年度ごとにとりまとめ、その進行管理（PDCAサイクル）により、計画の効果的な推進と着実な成果をあげるための基礎資料として作成・報告するものです。



2 計画の推進と進行管理

計画の推進及び進捗状況は、職員（計画担当者会議等）による内部検証・評価と、理事による経営的視点からの検証・評価を行うとともに、広くその成果を公表します。

また、市との協働による「新規事業の立ち上げ」や「既存事業の見直し」、「モデル事業（地域活動拠点強化事業）の検証」については、市との協働会議等において検討・検証を行います。（計画第5章「計画の推進」参照）

3 活動計画推進に関するプロジェクト会議等の設置

平成 21 年度、計画の推進を組織全体で取り組むため、重点事業及び市社協発展強化等に関するプロジェクトを立ち上げ、効果的な計画の推進を図りました。

① 保健福祉部局所管事業に関する協議

管理職を中心に、運営や事業等、柏市と調整を要する事項等を協議

《主な成果》

保健福祉部との協議（年 2 回）により、モデル事業や社協拠点の方向性、法人後見等に関する課題や方向性等の共通認識を図りました。

② プロパーリーダー会議（＝市社協発展強化プロジェクト）

リーダー職員を中心に、進行管理やプロジェクト間調整、市社協発展強化の推進（3つの改革）等を協議

《主な成果》

会議（年 4 回）を開催し、各プロジェクトの進捗状況や課題の共有、協議を行いました。

③ 重点的な取り組みプロジェクト

関係職員を中心に、重点プロジェクトの効果的な実施等を協議

《主な成果》

柏市関係部局も交えた活動拠点に関する定期的な事業検証を行いました。

また、ボランティア育成として、ボランティアセンター指針(案)や講座企画の考え方や企画書の統一等を図りました。

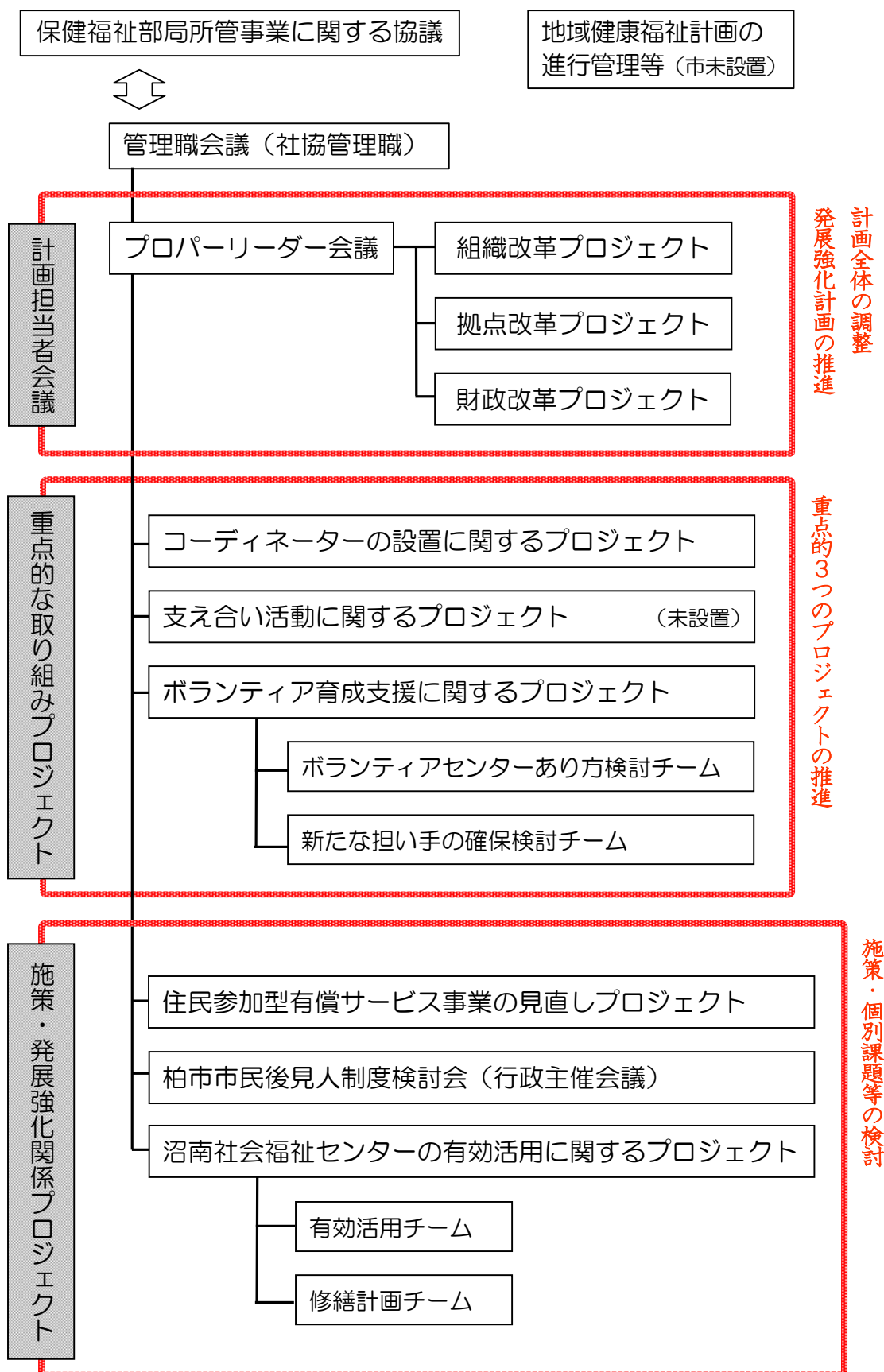
④ その他

計画の推進や新たな課題解決に必要なプロジェクトとして、「住民参加型有償サービス事業の見直し」、「沼南社会福祉センターの有効活用（修繕計画含）」のプロジェクトを設置。また、「柏市市民後見人制度検討会（行政主催会議）」では、市民後見・法人後見等の検討を柏市と協働で実施しました。

《主な成果》

送迎サービスの方向性や、沼南社会福祉センターの子ども室の充実やオープン라운ジの設置、法人後見の実施に向けた協議等を行いました。

平成 21 年度
「第 2 期 地域福祉活動計画推進に関するプロジェクト会議」体系図



第2章 重点プロジェクトの進捗状況

地域密着型社協として、地域に根付いた事業を展開していくため、3つのプロジェクトに重点をおいた取り組みを行いました。

1 コーディネーターの配置

【目標】 20のコミュニティエリアにコーディネーターを配置する。

【達成状況】 1 地区 / 20地区 <達成率 5 %>

◇ 平成 21 年度 風早南部地域活動センターをモデル設置

1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目
平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
1 地区	地区	地区	地区	地区

※ 地区数は、設置された地区数の合計です。

【主な取り組み(実績)】

- (1) 高柳近隣センター内に『風早南部地域活動センター』を開設
職員 2 人体制により、1 4 7 日間（火・水・金曜日）開所しました。

① 利用状況

気軽に利用しやすい雰囲気づくりに努めました。

ア 利用件数 8 9 5 件

＊ 利用方法 来所(70%)、訪問(15%)、電話(15%)

＊ 利用者層 ふる協・地区社協(39%)、市民(33%) 他

② 福祉総合相談

身近な地域で相談を受け止め、整理し、的確に繋ぎました。

ア 相談件数 3 8 6 件

＊ 相談者 高齢者(76%)、その他(19%) 他

＊ 相談内容 日常生活の困り事、失業等による生計問題 他

＊ 相談歴 初回(38%)、再来(62%)

＊ 相談結果 解決(63%)、継続(23%)、取り次ぎ(14%)

様々な連携の中継をし、支える側（担い手）の側面的支援を行いました。

ア ふる協と地区社協との役割の分散化や担い手の確保等を推進

イ 民生委員の相談世帯へのアプローチ方法や連携・役割分担等を支援

的確なコーディネートや生涯学習との連携等、担い手づくりを行いました。

* 講座「アロマハンドマッサージ」(全5講座／20人受講)

⇒ 講座後、ハンドマッサージと傾聴を兼ねた活動を展開

＊ 講座「男の料理道場」(全3講座／20人受講)

⇒ 講座後、「男道倶楽部（めんどうくらぶ）」として活動を展開

イ 個人ボランティアの活動希望相談は、少数に留まっています。

ア 地区内におけるさわやかサービスのコーディネートを実施

イ 担い手の確保は、個人ボランティアと同じく次年度の検討課題

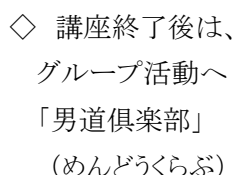
ア 多世代交流型コミュニティ（東大提案）の実施に向けた事前調査

イ ミニコミ誌「ちいき」の発行（5月、12月、3月／年3回）

事業の実施経過や今後の実施等についての協議を行いました。



◇ 講座終了後は、
定期的な活動へ
「アロマ de リラックス」



◇ ミニコミ誌「ちいき」発行



2 支えあい活動の立ち上げ支援

【目標】 支えあい活動（サロン活動等）を300創出する。

【達成状況】 180 活動 / 300活動 ≪達成率 60 %≫

◇ 平成 21 年度 市内 180 の支えあい活動を支援

1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目
平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
180 活動	活動	活動	活動	活動

※ 活動数は、各地区社協の実績報告から算出した活動の合計です。

【主な取り組み(実績)】

(1) 地区社協の助成制度を見直し

支えあい活動への転換や助成内容の明確化を図るため、活動内容に応じた助成制度への見直しを行いました。

≪助成項目（一例）≫

活動計画推進費	地区懇談会開催に要する経費や地区別計画等を推進する活動に要する経費
支えあい活動費	地区社協で自主運営している支えあい活動に要する経費
支援活動費	地区内で支えあい活動を行う団体、町会等を支援するための経費（平成 21 年度は、地区社協を通じて、77 の支え合い活動を支援）

(2) 地区社協連絡会での事例発表

年 4 回の地区社協連絡会の場で、積極的な支えあい活動や特徴的な活動を展開している地区社協の事例発表を行いました。

≪活動発表≫

- ①「有償在宅福祉サービスの取り組み」
(新田原地区社協)
- ②「地区別計画の推進（町会単位の支えあい活動）」（南部地区社協）
- ③「地区社協が進める見守り活動（福祉委員制度）」（風早北部地区社協）
- ④「障害者団体との協働による取り組み」（光ヶ丘地区社協）
- ⑤「ふるさと協議会との一本化後の状況」（富里地区社協）



(3) 支えあい活動への転換

約半数の地区社協において、支えあい活動を意識した事業展開が見られるようになりました。

《活動例（一例）》

「きららの集い」で避難訓練の実施

（藤心地区社協）

参加者（一人暮らしの高齢者）に対して避難場所の確認や防災訓練の実施等を行い、防災意識の向上に努めました。



「障害交流部会」を新設

（富勢地区社協）

地区にある障害者施設と地域交流等を積極的に始めました。

「ふれあい体育祭」の場では、施設も参加し、バザー等を行いました。

(4) サロン実施に向けた啓発活動

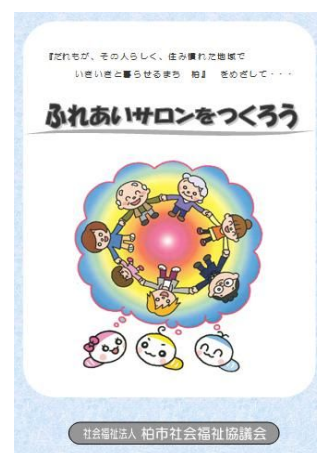
地域主催の講座等に出向き、サロンづくりの紹介をしました。

また、サロンを始めやすいようにパンフレットを作成しました。

《活動例（一例）》

出前講座

- ・ 光ヶ丘コミュニティ講座「目指せ！サロンの達人」でのサロン説明と紹介等。
- ・ 町会単位での立ち上げ支援や活動事例紹介。



(5) 地区活動マップの更新

各地区の健康福祉活動が一目でわかる地区活動マップを更新しました。

《掲載内容（一例）》

- ・ 地区の概要
- ・ 町会、自治会、区等データ
- ・ ふれあい、子育てサロン情報
- ・ 社会資源マップ 等



3 ボランティアの育成支援

【目標】 新たな担い手を 1,000 人確保(育成)する。

【達成状況】 343 人 / 1,000 人 ≪達成率 34 %≫

◇ 平成 21 年度 343 人の人材を確保(育成)

1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目
平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
343 人	人	人	人	人

※ 実績人数は、積算対象とした活動等の合計値です。(P22 参照)

【主な取り組み(実績)】

(1) ボランティアセンター運営指針の検討

⇒ ボランティアセンターのあり方や方向性の明確化を図るため、関係職員でプロジェクトを組み、協議を行いました。

なお、協議内容は、平成 22 年度に策定するボランティアセンターの活性化プランに引き継がれます。

(2) 講座の考え方や企画書の統一

企画書の統一を図るとともに、講座終了後の受講者の今後の活動（受け皿）までも視野に入れて講座を開催するように努めました。

福祉施設の職員やボランティアグループ活動者から直接、活動紹介やアドバイス等を行う等、受け皿となる活動の場との結び付きを積極的に行いました。



ボランティア養成講座「はじめよう！ボランティア」

(3) 各種ニーズ調査の実施

人材育成に取り組むにあたり、現状の把握や必要な人材等を把握するため、各種ニーズ調査を実施しました。

① 福祉施設のボランティアニーズ等及び登録団体の活動状況調査

ボランティアコーディネーターが、市内福祉施設を訪問し現状等を把握

《訪問施設》

- ・ 介護老人保健施設（3ヵ所） ・ 介護老人福祉施設（9ヶ所）
- ・ デイサービス施設（6ヶ所） ・ グループホーム（4ヶ所）
- ・ 障害者（児）施設（8ヶ所）

《設問と結果（一例）》

- ・ ボランティア受入れに当たっての課題・問題点について
⇒ ボランティア活動者の高齢化 等
- ・ 今後、どのようなボランティアを必要とするか
⇒ 話し相手、見守り介助、囲碁・将棋等の相手 等
- ・ 地域との連携について
⇒ 近隣小中学校（児童生徒）との体験学習等での交流、その他
地域イベントでの交流 等

② 地区社会福祉協議会活動の担い手に関するアンケート調査

地域活動で不足している人材や担い手育成に関する意見等を把握

《設問と結果（一例）》

- ・ 担い手が不足している活動について
⇒ サロン活動、訪問（見守り）活動、地区社協委員 等
- ・ 活動者向けに開催を希望する講座について
⇒ ボランティア基礎講座、介護予防、認知症、パソコン 等
- ・ 担い手の育成に関し、市社協に対する支援の要望について
⇒ 講座や勉強会の開催、コーディネーターの育成 等

③ 担い手確保プロジェクト職員ニーズ調査

地域支援課職員に対し、人材育成に関する現状や具体的な方策を調査

《設問例（一例）》

- ・ 必要と考えられるボランティアについて
- ・ ボランティア活動者を地域活動に結び付ける方策について
- ・ 人材育成のために、講座について

(4) さわやかサービス「公開講座」での担い手の募集

住民参加型有償サービスの担い手の確保のため、一般市民を対象とした年2回の公開講座の場で協力会員募集の時間を設け、積極的な担い手確保を行いました。



第3章 各施策の進捗状況

地域密着型社協として、5つの基本方針に基づき、各事業の充実・強化に向けた取り組みを推進しました。

【主な取り組み(実績)】

(1) 広報紙から情報紙へ（広報・啓発活動の見直し）

「社協の広報紙」から「地域福祉の情報紙」に視点を変えて、地域の活動や情報等を中心とした紙面にリニューアルしました。

- ・ タイトルの公募（「紙ひこうき」に決定）
- ・ 地域活動や情報中心の紙面づくり
- ・ ボランティアセンターだよりの統合



(2) 社協職員災害対応訓練・研修会の実施

災害に関する研修と災害ボランティアセンターの設置訓練を実施しました。

- ① 研修
 - ・ 災害発生後の状況と柏市の対応
 - ・ 災害現場でのボランティア活動
- ② 訓練
 - ・ 災害ボランティアセンター設置訓練



(3) 法人後見業務の実施に向けた取り組み

法人後見業務の実施に向け、柏市と共同事務局により「柏市市民後見制度等検討会」を設置し、柏市における市民後見人のあり方や市民後見人等について協議を行いました。（検討結果は、「柏市市民後見制度等検討会報告書」のとおり）

※ 活動計画に掲げる目標値の達成状況は、資料「活動計画数値達成状況一覧」参照

第4章 市社協の発展・強化

地域密着型社協の実現に向けた経営戦略として、組織・拠点・財政の3つの視点で取り組みました。

1 組織改革

(1) 理事・評議員への事業説明等、学習機会の提供

理事及び評議員が政策協議等を行いやすいように、第1回目の委員会・部会において、「社協の事業概要と活動計画」の説明を行いました。

(2) 委員会・部会の活性化

委員会や部会に、事業提案や課題提議等を積極的に行い、活発な政策協議を行いました。また、その中で理事所属団体での情報紙配布協力の提案を受け、具体的な取り組みに結び付けることもできました。

2 拠点改革

(1) 拠点の集約と分散

3拠点における職員間の連携や情報の共有化を考慮し、介護予防センターと教育福祉会館に事業担当を集約する等、事務所機能の集約を行いました。

また、地域の身近な相談窓口となる風早南部地域活動センターを設置し、地域に身近な活動拠点の分散を行いました。

(2) 沼南社会福祉センターの有効活用

子ども室のリニューアルや自由に休憩や食事が出来るオープンラウンジの設置等、「幼児と母親」が利用しやすい環境整備を図りました。



3 財政改革

(1) 沼南社会福祉センターの修繕計画への着手

建設後、10年が経過した沼南社会福祉センターの今後の修繕を計画的に行うための修繕計画の作成について具体的に着手しました。

第5章 地区別計画

各地区社協が、掲げた活動目標に基づき、地域特性を活かしながら地域健康福祉活動を推進しました。

1 南部地区社会福祉協議会の取り組み

(1) 身近な相談窓口の設置

地域の相談窓口として「南部なんでも相談室」を設置しました。

相談員は、民生(児)委員や元教師、警察官等地元の人材を活かしています。

また、「福祉・案内リスト」や「相談カード」の作成、傾聴等に関する研修等も行いました。

(2) 懇談会の充実と支えあい活動の拡充へ

懇談会を開催し、地区別計画の周知等を積極的に行いました。また、「1町会1活動」を目指し、各町会へ働きかけました。

現在全体の16の町会でふれあいサロン等が実施されています。



2 土 地区社会福祉協議会の取り組み

(1) 懇談会で地域分析

地区内を3つの地域に分けて、それぞれの地域の自治会に呼びかけ、交流や現状分析、課題の共有等を目的に懇談会を開催しました。

《特徴》

- ・ 研修で学んだ「4つの窓（ポストイット）」を活用（実践）したグループワークの展開
- ・ 参加者全員に必ず発表する
- ・ 懇談会の意見は報告書としてまとめられ、地域活動の実践につなげている



地区別計画進捗状況一覧

No	地区名	地区の特徴や取り組み
1	柏中央地区	地区内にふれあいサロンが広がりつつあり、サロン活動を中心とした事業展開への移行を図っている。
2	新田原地区	定期的開催される保健福祉部会議では、福祉活動や地区別計画の実施に向けた協議や意見交換を行っている。
3	永楽台地区	幅広い事業展開と地区のまとまりが特徴的。特に今年度は、事業別懇談会を実施し、目標の見直しを行っている。
4	富里地区	ふるさと協議会と地区社協の一本化後は、更に協力体制が強化され、また、その活動も支えあい活動を中心になりつつある。
5	豊四季台西地区	定期的な役員会では活発な意見交換が行われており、地域包括支援センター等の関係機関とのつながりができてきている。
6	豊四季台地区	民生委員を中心とした、支えあい活動が活発に行われている。また、地区が1つの自治会で構成されているため、協力体制が良い。
7	旭町地区	ふるさと協議会との一本化により、住民主体の地域づくりと助けあい活動の推進が期待される。
8	新富地区	学校と地域の共生を目標にした青少年相談員協議会との連携は非常に良い。また、地区別計画の意見交換等を積極的に行っている。
9	高田地区	各町会単位のふれあいサロン実施を推進する等、支えあい活動を着々と進めている。
10	松葉地区	各部会を毎月定例的に実施。また、地区懇談会では、地区内の現状や課題確認等を行っている。
11	田中地区	地区懇談会で、「高齢者事業を町会自治会単位で実施していく」ことを決定。地区計画を意識した支えあい活動の推進を進めている。
12	西原地区	他団体や施設等を交えた地区懇談会の実施やジュニアリーダーの養成に取り組む等、地区計画を意識した取り組みを進めている。
13	富勢地区	新たに「障害交流部会」を設置し、地域施設との交流を積極的に進める等、地区計画を意識した事業を展開している。
14	土地地区	障害者団体との懇談会を通じてニーズの把握に努めている。また、地区懇談会を上手に活用した活動実践を行っている。
15	藤心地区	イベント等広がりのある活動を利用して支えあい活動を進めている。また、サロンへの支援や見守り活動も進めている。
16	光ヶ丘地区	サロン活動に積極的に取り組んでいる。また、障害者団体との共催でふれあい祭りを開催する等、関係機関等との連携がよい。
17	南光ヶ丘地区	子育てサロンの開設等、地区社協として支えあい活動（サロン活動）への位置づけは高く、積極的に取り組んでいる。
18	酒井根地区	地区懇談会を年2回実施。主に地区内の防犯や防災等についての話し合いが行われた。
19	南部地区	地区別計画を意識し、近隣センター内に独自の相談窓口を設置。また、町会単位の支えあい活動の拡充を目指し取り組んでいる。
20	大津ヶ丘・塚崎地区	サロン活動や事業も多い。また、地区懇談会では、町会等も参加し、活発な意見交換を行い、目標に向け、取り組もうとしている。
21	風早北部地区	サロン活動の他、ふれあい喫茶が増設されるなど、支えあい活動への意識は高い。また、地区別計画を意識し、懇談会を開催した。
22	風早南部地区	見守り活動、サロン活動を中心に据えた活動が展開されている。また、モデル事業や施設等、地域のネットワークが充実している。
23	手賀地区	農協とのタイアップによる介護予防普及啓発活動等、地域性を活かした事業を実施。また、地区計画を意識した懇談会も実施した。

【資料】 施策別の目標値進捗状況一覧

1 地域で支えあっていくために

1-1 担い手の確保

(1) ボランティアセンターの機能強化

① コーディネート力の強化

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
ボランティア 相談年間件数 (件)	目標値	450	475	500	550	600
	実 績	488				
	達成率	108%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … ボランティアセンターでの相談件数

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
コーディネート 年間件数 (件)	目標値	150	160	170	180	200
	実 績	116				
	達成率	77%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … ボランティアセンターでのコーディネート件数

② 市民活動センター等との連携強化

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
市民活動センタ ー等他機関との 協議の場の設置	目標値	機能、役割、連携 内容等の協議		協議結果を踏まえ実践		
	実 績	未実施				

◇ 実績数値 … 他機関と連携等を目的とした協議の場の有無

(2) ボランティアデビューのきっかけづくり

① ボランティア入門講座の実施

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
ボランティア入 門講座年間回数 (回)	目標値	2	3	3	4	6
	実 績	4				
	達成率	200%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … ボランティアセンターで開催した入門講座の回数

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
年間参加人数 (人)	目標値	60	90	90	120	180
	実 績	83				
	達成率	138%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … (2) ①の講座に参加した参加者数

② 担い手の地域活動へのコーディネート

* 数値目標なし

(3) 地区単位での担い手づくり

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
講座受講者年間 人数 (人)	目標値	30	60	90	120	200
	実 績	33				
	達成率	110%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 地区単位での担い手づくりを目的とした講座に参加した受講者数

(4) 気軽なボランティアの推進

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
紹介年間件数 (件)	目標値	60	120	200	240	280
	実 績	162				
	達成率	270%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 夏ボラのススめを活用して活動を行った活動者の延人数

1-2 より身近な地域での支えあいの支援

(1) 身近な地域での助けあい支えあい活動の推進

① 地区懇談会等による啓発

* 数値目標なし

② 「身近な地域における助けあい支えあい活動」の出前講座の実施

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
身近な地域（地域自治組織単位等）での助けあい支えあい活動 箇所総数(箇所)	目標値	100	150	200	250	300
	実 績	180				
	達成率	180%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 身近な地域での助けあい支えあい活動(サロン等)箇所総数

(2) 多様な地域福祉活動への支援（新たな団体助成の実施）

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
助成団体総数 ※地区社協除く (団体)	目標値	110	120	130	140	150
	実 績	70				
	達成率	64%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 地区社協を除く、ボランティアグループ等への助成団体数

1-3 地区社協の方向性の確立

(1) 地区別計画の推進

① 地区別計画の目標に向けた取り組みの支援

＊ 数値目標なし

② 地区懇談会の実施

＊ 数値目標なし

③ 地区活動マップの更新

＊ 数値目標なし

(2) 総合的・機能的な組織体制の整備（ふる協との一本化）

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
一本化の地区 総数 (地区)	目標値	13	15	17	19	20
	実 績	14				
	達成率	108%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 地区社協とふるさと協議会が一本化した地区数

(3) 地区活動の理想的な構成員体制づくり（改選及び後継者づくり）

＊ 目標数値なし

(4) 助けあい支えあいを中心とした活動展開

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
支えあい活動へ の転換地区総数 (地区)	目標値	6	8	14	17	20
	実 績	12				
	達成率	200%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 事業の見直しや新たな事業等で、支えあい活動に取り組んだ地区社協数

(5) 活動メニューに応じた助成金の設定

＊ 数値目標なし

(6) コーディネーターの配置

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
コーディネータ ー配置地区総数 (地区)	目標値	1	検討結果を踏まえて拡充			
	実 績	1				
	達成率	100%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 地域活動拠点にコーディネーターが配置された地区数

2 地域健康福祉を広げ、相談体制を充実するために

2-1 福祉意識の醸成

(1) 新たな啓発方法の推進

① 多様な分野への啓発活動

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
多様な分野への 年間啓発活動数 (回)	目標値	3	5	8	10	12
	実 績	1				
	達成率	33%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 情報紙、HP以外の手法による多様な分野への啓発活動

② 出前講座の充実と推進

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
出前講座のメニ ュー総数 (メニュー)	目標値	4	8	10	10	10
	実 績	4				
	達成率	100%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 社協が実施する出前講座のメニュー数

(2) 障がい者との懇談・交流の推進

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
実施地区総数 (地区)	目標値	5	9	11	17	20
	実 績	8				
	達成率	160%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 障がい者との懇談・交流等に取り組んだ地区社協数

2-2 福祉教育の推進

(1) 市内全校（小中）による福祉教育の推進

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
福祉教育取り組 み学校総数 (校)	目標値	8	9	10	12	15
	実 績	12				
	達成率	150%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 総合的な学習の時間等での福祉教育支援校数

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
授業総数 (講座)	目標値	25	27	30	36	45
	実 績	22				
	達成率	88%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 総合的な学習の時間等での福祉教育支援授業数

(2) 世代を超えた福祉教育の実施

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
多世代型福祉教育の年間回数 (回)	目標値	1	2	3	4	5
	実 績	0				
	達成率	0%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 多世代を対象とした福祉教育の実践数

2-3 潜在的ニーズの発掘と社会化

(1) 「助けて」と言える環境づくり及び (2) 身近な地域における「声かけ」の推進

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
見守りチーム実施地区数 (地区)	目標値	4		10		20
	実 績	5				
	達成率	125%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 福祉委員(地域住民による見守り活動)の設置地区数

(3) 相談支援体制の充実

* 数値目標なし

3 生涯を通じて健康にいきいきと暮らすために

3-1 社会参加、生きがい活動の推進

(1) 生涯学習との連携による社会参加・生きがい活動の推進

* 数値目標なし

3-2 健康づくりの推進

(1) 交流・イベント等を通じた健康づくりの推進

* 数値目標なし

(2) 介護予防に関する情報提供や研修等の実施

* 数値目標なし

4 その人らしく生きるために

4-1 多様なインフォーマルサービスの創出

(1) 住民参加型有償サービスの充実

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
新規協力員年間 総数 (人)	目標値	50	50	50	50	50
	実 績	61				
	達成率	122%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … さわやかサービス及びFSCの新規協力・提供会員数

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
C0 研修・情報交 換会年間実施回 数 (回)	目標値	3	3	3	3	3
	実 績	6				
	達成率	200%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 市内の有償サービスの質の向上のための取り組み回数(研修等)

(2) 身近な地域における訪問支援活動の推進

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
研修会・意見交 換会の年間回数 (回)	目標値	1	1	2	2	3
	実 績	0				
	達成率	0%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 訪問支援活動等を対象とした研修会等の実施回数

(3) 地域課題に対応できるボランティア団体等の育成

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
地域課題解決型 ボランティア団 体の新規立ち上 げ数 (団体)	目標値	0	1	1	2	3
	実 績	0				
	達成率	— %	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 新たなボランティア団体立ち上げ支援数

4-2 多様化する福祉課題への対応

(1) 法人後見活動の実施

① 法人後見業務の実施

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
法人後見新規受 任件数 (件)	目標値	0	1	2	4	6
	実 績	0				
	達成率	— %	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 法人後見新規受入者数

② 生活支援員・後見支援員（仮称）の人材確保

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
生活支援員・後見支援員の総数 (人)	目標値	35	38	40	45	50
	実 績	37				
	達成率	106%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 生活支援員・後見支援員の人数

(2) 相談支援体制の充実（再掲）

5 地域のなかで安心安全に暮らすために

5-1 災害時に備えた体制づくり

(1) 災害ボランティアセンターの体制づくり

① 備品等の整備と設置訓練の実施

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
訓練年間回数 (回)	目標値	1	2	2	2	2
	実 績	1				
	達成率	100%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 災害ボランティアセンター設置訓練の開催回数

② 研修等の開催

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
研修の年間回数 (件)	目標値	1	2	2	2	2
	実 績	1				
	達成率	100%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 災害関係の研修等を開催した回数

(2) 災害関係機関との連携体制づくり

① 災害関係団体等に関する情報収集と連携

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
連携団体総数 (団体)	目標値	0	3	3	5	5
	実 績	0				
	達成率	— %	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 災害関係の取組みで、他団体等と協力や連携ができた団体数

② 災害関係団体との協議

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
連絡会等の情報 交流の場の年間 回数 (回)	目標値	0	2	2	3	3
	実 績	0				
	達成率	— %	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 災害関係の取組みで他団体と連絡会等で情報交換できた回数

5-2 災害時要援護者の把握と見守り

(1) 災害時に備えた見守り活動の推進

① 災害時要援護者の把握と見守り活動との融合

* 数値目標なし

② 見守り活動を通じた災害時要援護者対策の啓発

* 数値目標なし

5-3 移動支援対策

(1) 送迎サービスの運用体制の見直し

* 数値目標なし

(2) 福祉有償運送従事者の養成・育成

項 目		H21	H22	H23	H24	H25
養成研修等年間 受講者数 (人)	目標値	50	50	50	50	50
	実 績	4				
	達成率	8%	%	%	%	%

◇ 実績数値 … 福祉有償運送に係る養成研修等の受講者数

備考（報告書の記載事項に関する留意点）

P6-7)「2 支えあい活動の立ち上げ支援」は、柏市社協が、目標達成のために実施した取り組みを中心に記載。 ※ (3)は、地区社協の取り組み

P8-9)「3 ボランティアの育成支援」は、柏市社協が、目標達成のために実施した取り組みを中心に記載。

P8)「新たな担い手 1,000 人確保」における実績数値の積算対象

- ① ボランティアセンターに新規登録する個人ボランティア数
- ② 新たに情報登録を行うボランティア団体の構成人数
- ③ 情報登録をしている既存のボランティア団体に新規加入したボランティア数
- ④ 地区社協が実施・支援する支えあい活動(サロン等)の新規ボランティア数
- ⑤ 地域活動センターで調整及び把握する新規ボランティア数
- ⑥ 介護予防事業を支援するボランティア数
- ⑦ さわやかサービス新規協力会員数
- ⑧ かしわファミリー・サポート・センター新規協力会員数
- ⑨ 日常生活自立支援事業における新規登録生活支援員数
- ⑩ 後見センターにおける新規市民後見人数

P10)「第3章 各施策の進捗状況」は、5つの基本方針の取り組みとして、新たな事業の実施や特徴的な展開があった取り組みを掲載。

P12)「第5章 地区別計画」は、活動計画及び地区別計画の目標等に対し、新たな事業の実施や特徴的な展開を行った積極的な地区社協を掲載。

P13)「地区別計画進捗状況一覧」は、各地区の地区別計画に対する活動やその他特徴的な取り組みについて掲載。

P14-21)「【資料】施策別の目標遅進捗状況一覧」は、計画書に掲げる目標値に対する実績値を記載。なお、各施策の目標値は、項目ごとに記載。

第 2 期 柏市地域健康福祉活動計画

平成 2 1 年度進捗状況報告書

発 行 2011 年 3 月 1 日
編集発行 社会福祉法人 柏市社会福祉協議会
〒277-0005
千葉県柏市柏五丁目 11 番 8 号 いきいきプラザ内
電話 04-7163-3100 FAX04-7163-9300
